



# ファーストイーサネット・スイッチ CentreCOM® FS702TXR ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS702TXR 以下 FS702 と略記します。ご購入いただきまして誠にありがとうございます。このユーザーマニュアルをお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

## ● 各部の名称と機能

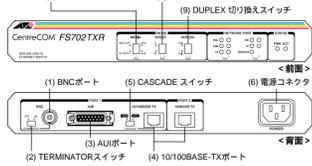


図1 CentreCOM FS702の外観図

図1をもとに各部の名称と働きを説明します。FS702は、PORT1とPORT2のふたつのポートを持っています。PORT1はBNC、AUI、10/100BASE-TX(UTP)から構成された共用ポートであり、接続するメディアに合わせて、MEDIAセレクトスイッチによってコネクタを選択することができます(3つのコネクタを同時に使用することはできません)。PORT2は、10/100BASE-TXポートのみで構成されています。

(1) BNC 10BASE2 10BASE2のシツイヤーケーブル(細径同軸ケーブル)を接続するためのコネクタです。詳細は、後述の各ポートの設定をご参照ください。

(2) TERMINATOR スイッチ BNCポートに内蔵された50Ωのターミネータ終端抵抗のON/OFFを設定するスイッチです。TERMINATORスイッチは、10BASE2の配線形態に合わせて設定します。

(3) AUI 10BASE5 10BASE5のトランシーバケーブル(AUIケーブル)を接続するためのコネクタです。詳細は、後述の各ポートの設定をご参照ください。

## ● 再梱包

FS702を移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包

## 使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項は必ず守ってください。守られていない場合、感電や怪我、火災、故障の原因となります。



**ケースを外さないでください。**  
本装置の内部には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、絶対にケースを外さないでください。ユーザーに必要な部品は内包されています。



**稲妻危険**  
稲妻が発生しているとき、ケーブルの配線などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



**正しい電源を使ってください。**  
本装置は、AC100-240Vで動作します。ご購入の前に必ずご確認ください。なお、本装置に付属の電源ケーブルは100V用であり、他の電圧ではご使用になれません。



**正しい電源ケーブルおよびコンセントを使用してください。**  
本装置に電源を供給する場合には、必ず電源電圧に適合した電源ケーブルをご使用ください。日本国内などで100Vでご使用になる場合は、本装置に付属の電源ケーブルをご使用ください。電源ケーブルのプラグは、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントをご使用になった場合にお客様が被った損害についてはいかなる責任も負いかねます。

**電源ケーブルは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。**また、圧力がかかりコードがつぶれてしまうような箇所に電源ケーブルを敷設しないでください。



**たこ足配線をしないでください。**  
ケーブルタップをご使用になる場合、たこ足配線をしないでください。たこ足配線は、火災の原因になります。



**通気口をふさがないでください。**  
本装置の通気口をふさがないでください。通気口をふさいだ状態で本装置を使用すると、加熱などにより故障、火災の恐れがあります。



**取り扱いに丁寧に**  
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



**動作温度**  
本装置は、周囲温度0～40℃の範囲でご使用下さい。特に、本装置をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。



**異物を入れないでください。**  
通気口から金属や液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



**設置、ケーブル配線、移動は電源を抜いて**  
本装置の設置や移動、ケーブル配線などを行う場合は、必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。



**次のような場所での使用や保管はしないでください。**  
・直射日光の当たる場所  
・暖房器具の近くなどの高温になる場所  
・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)  
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の範囲でご使用ください)  
・振動の激しい場所  
・ほこりの多い場所や、ジュエタンを数いた場所(静電気障害の原因になります)  
・腐食性ガスの発生する場所



**日常のお手入れ**  
本装置の汚れは、乾いたやわらかい布でふきとってください。ペンジン、シンナーなどは使用しないでください。変形や変色の原因になります。

## ● 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

## ● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

## ● ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも速かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

Tel: ☎0120-860-772  
月～金・祝・祭日を除く)10:00-19:00  
土(祝・祭日を除く)10:00-17:00  
Fax: ☎0120-860-662  
年中無休 24 時間受け付け

## ● 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合は、別途プリントアウトなどを添付してください。

## ● 使用しているハードウェアについて

・製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。



## ● お問い合わせ内容について

・どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。  
・エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

## ● ネットワーク構成について

・ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。  
・他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどを記入ください。

●●●●●●●●

## ● おことわり

・本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。  
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。  
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。  
・本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©1998 アライドテレシス株式会社

## ● 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

## ● マニュアルバージョン

1998年8月20日 Rev.A 初版  
1999年3月18日 Rev.B 改版

## 調査依頼書(CentreCOM FS702TXR)

年 月 日

一般事項	
1. 御社名:	
部署名:	ご担当者:
ご連絡先住所: 〒	
TEL: ( )	FAX: ( )
2. 購入先:	購入年月日:
購入先担当者:	連絡先(TEL): ( )

## ハードウェアとネットワーク構成

### 1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名: CentreCOM FS702TXR



### 2. お問い合わせ内容 別紙あり 別紙なし

設置中に起きている障害 設置後、運用中に起きている障害

### 3. ネットワーク構成図 別紙あり 別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

